

# 持続可能な社会を目指す グリーンポイント制



# 世界のエコな取り組み

- ゼロカーボンシティ宣言：全国の自治体が2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す
- クールチョイス（COOL CHOICE）環境省が推進する「賢い選択」キャンペーン（省エネ家電、公共交通など）
- プラスチック資源循環促進法プラスチックごみの削減と再利用を促進する法律
- グリーン成長戦略再生可能エネルギーやEVなどの成長分野を支援する政策  
などがあります。

# エコな取り組みには様々な問題があります

## 1 情報不足・誤解

環境問題の深刻さや、自分の行動が与える影響についての理解が不十分。

「自分一人がやっても意味がない」という無力感。

## 2. 行動のハードルが高い

エコ商品や再エネの導入にはコストがかかる。

## 3. インセンティブの不足

環境に良い行動をしても、目に見える報酬や評価が少ない。


## 4. 社会的な同調圧力や文化的障壁

地域や世代によって、環境意識に差がある。

## 5. 制度やインフラの未整備

公共交通やリサイクル施設が十分に整っていない地域もある。

環境に配慮した選択肢が少ない（例：プラスチック包装の多さ）。



## グリーンポイント パスポート の制度化

個人や企業が環境に優しい行動を取るたびに「**グリーンポイント**」が貯まり、地域通貨や特典と交換できる仕組みです。  
行動履歴はスマホアプリやICカードで記録され、環境貢献度が見える化するということです。

## 行動例 獲得ポイント

マイバッグ持参で買い物 5pt

レジでQRコード読み取り、自転車通勤 10pt

GPS連携で自動記録もする、リサイクル品の持ち込み 15pt

回収所でスキャン、再エネ電力の契約、電力会社の契約 100pt/月

## ポイントの使い道：

地元商店街での割引

公共交通の割引券

環境保全団体への寄付

環境イベントの優先参加権などを考えています。

# メリット

## 行動変容を促進

- ・環境に良い行動が「得」になります。

## 地域経済の活性化

- ・地元商店との連携で経済循環

## データ活用

- ・環境行動のビッグデータを政策に反映などに活用することができます

# デメリット

## 安定的な財源の用意

- ・ 行動によってのポイントはどこから生まれ、誰が負担するのか

## 詐欺の報告

- ・ 他人のリサイクル品をとって、ポイントを稼ぐ行為

# まとめ

画期的なアイデアだが再現性が低い可能性が高い

しかしこのグリーンポイント制の施行により環境が改善される可能性が高い